



NID News

2009 September

005





大学祭開催！ 10.10^土 11^日 10:00～19:00

第16回長岡造形大学大学祭。今年のテーマは「i-あい-」。

私(i)という一人一人が集まり、それぞれの個性と繋がって輪を形成して欲しいという思いが込められています。

大学祭というたくさんの人の identity が出会う場で、新たな自分を発見してみてください。

また、学内のマップ、サイン、横断幕、ピクトグラムなど、学生がデザイン案から準備まで全てに携わり、会場を作りあげています。そちらにもぜひ注目してみてください。

N展

10日^土 10:00～18:00

11日^日 10:00～17:00

N展とは学生の課題作品展です。これまでに学生が制作してきた授業課題の作品の中から先生方が選抜した優秀なものやユニークなものが展示されます。長岡造形大学ならではの作品展となっています。



Collection of colors (コレカラ)

10日^土 10:00～18:00

11日^日 10:00～17:00

「コレカラ」は学生だけではなく、先生方や地域の方々から参加いただく自由作品展です。近年は、幼稚園のクラス単位での出展や県外の方からの出展も増え、より魅力ある作品展へと成長しています。



ワークショップ

10日^土、11日^日 10:00～17:00

今年はオリジナルキャンドルとコースターを制作することができます。



キャンドル作りは火を使用しないため、小さなお子様でも安心して作ることができます。普段なかなか使うことのないキャンドルを自分で作り、何気ない日をキャンドルの灯りで特別な日にしてはいかがでしょうか。



フェルトやレースにボタンやビーズなどで装飾を加えてオリジナルコースターを作ることができます。自分で作ったコースターを使えば冷えたジュースがよりおいしく感じるかも!?



ゲスト企画 🗣️

ゲスト：平沢 けいこ さん（イラストレーター）

10日 🕒 13:00～15:00

整理券配布：11:30

開 場：12:40

会 場：大講義室

内 容：講演、実演（イラストの描き方）

受 講 料：無料

定 員：250 名



【プロフィール】

イラストスクール「PALETTE CLUB」に第2期・第3期生として2年間在学。1999年よりフリーのイラストレーターとして活動。広告、女性誌、ポスター、書籍表紙、企業パンフレット、企業販促ツール、キャラクターデザイン、web、などを手掛けています。キュートでセクシーな女の子をメインに、見た人が少しでも優しい気持ちになれる様な世界を表現できればと思います。

【WORK】

『花王』ホームページ、ビオレ毛穴すっきりバック販促用シール、他
 『YAMAHA 講師募集広告』パンフレット、ポスター
 『TOTO バスピア』カタログ表紙
 『SUZUKI ワゴンMR』パンフレット、ポスター
 『カネボウ』『資生堂』『DHC』
 『non・no』『an・an』『ESSE』『With』『ViVi』
 『オズマガジン』『オズウェディング』『セクシー』『FYITE』『マキア』他

学内企画 🎨

10日 🕒、11日 🕒 10:00～18:00

長岡造形大学の学生が制作した個性豊かな作品の展示や販売を行います。ポストカードやアクセサリー、部屋に飾る小物など他では売ってないNID生の作品が購入できるのはこの大学祭だけです。他にも学内企画として、オリジナル映画の上映や演劇公演など個性あふれる企画が目白押しです。



模擬店 🍔

10日 🕒、11日 🕒 10:00～19:00

屋外では学生が飲食物の販売をする模擬店が行われます。たこ焼きや焼きそば、チョコバナナなどの定番メニューからカレーライスや丼物、焼きおにぎりなど個性あふれるお店が勢ぞろい。模擬店にもぜひお立ち寄りください。



ステージ企画 🎤

10日 🕒、11日 🕒 10:00～19:00

ステージ企画は各サークル団体によるパフォーマンスです。学生エントランスの特設ステージでは和太鼓、吹奏楽、ダンス、バンドを楽しむことができます。音とダンスで大学祭を盛り上げます。



長岡造形大学大花火 🎆

11日 🕒 19:00～

長岡造形大学大学祭の目玉のひとつ。大学祭のフィナーレを飾る大花火を今年も打ち上げます。大学祭最終日のステージ企画終了後、カウントダウンに合わせて打ち上げられます。今年は例年以上に豪華な花火が見られるかもしれません。夜空を飾る素晴らしい花火を是非ご覧ください。



NIDの個性あふれる授業を紹介していきます。
今回は「基礎造形実習Ⅰ」を特集します。

基礎造形実習Ⅰ

この春から新しくスタートした、NIDの特長な授業「基礎造形実習Ⅰ」。月曜日から金曜日の午前中に、学部1年生全員で取り組み、造形に重要な

○ 描写

幾何形体・有機形体の基礎的な立体をモチーフとしたデッサンからスタートします。

3つの課題を通して、それぞれのモチーフが持つ「形・明暗・色彩・質感・空間」の観察力・把握力・描写力を養うことを目標とします。

描写はこれから大学で研究・制作を行っていく上で、ベースとなる最も大切な要素の一つです。

モチーフ同士の関係性を理論的に学びます。



描写から着色まで。



一同に並べた作品に、先生が一つずつ丁寧に講評します。



○ 造形

「かたち」への本質的な理解を深めることを目指します。描写のモチーフはりんごや自分の手など。

自然物が持つ美しさや成り立ちをじっくり観察・分析します。また紙を使った立体構成から、素材に対する加工法や立体造形力を養います。

目の前のりんごを、時間をかけてじっくり観察。



平面から立体へ。



最後はプレゼンテーションまで。



○ 素材材

木を素材とした「ハンド・ランチ・グライダー」の制作では、図面（設計図）を基に、各パーツのカットから機体の組み立てまで一連の作業を通して、素材から形へ転換することへの理解を深めます。また「色」を使った立体表現により、立体感・構成力を養います。

カッティングを基礎からレクチャー。



学内で飛行実験！羽の角度が飛行時間の決め手です。



色の明度差を利用した陰影表現で立体感を出します。

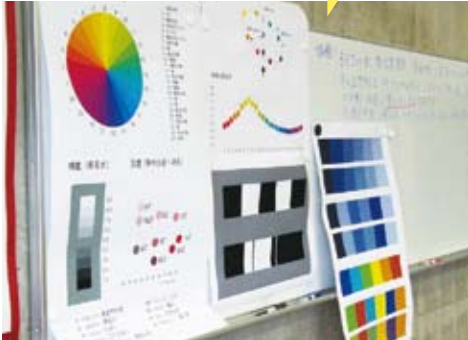


「観る」「描く」「創る」を、実習を通して基礎から学んできました。
今回はその内容をたっぷりご紹介します！

○ デザイン

美しい線を引くこと、明度や彩度を学んだ上での色作り、また画面にムラなく色を塗ることなど、デザインに必要な“手を使った”基本的技術を身につけることを目標とします。

まずは色について基礎から学びます。



「烏口」の使い方も学びます。



線に沿って丁寧に彩色することは、プロとしての仕事に対するマナーを学ぶことにもつながります。



○ 複合造形

まず制作活動に必要な基本的な用具・道具について理解し、その初歩的な使用法をマスターします。また今後の制作・創作活動に対応するための集中力の修得も目指します。そして最終週には、「基礎造形実習Ⅰ」にて修得した成果を確認し、自己検証をするためのコンクールを行います。

まずは道具一つ一つの名称や用途の説明からスタート。



カッターの使い方のレクチャー。



基本的な立方体の制作。



「基礎造形実習Ⅰ」での集大成となるコンクールの作品制作。



最後は全員でコンクールの講評会。



プロダクトデザインの世界

NIDでは、あらゆる工業製品のデザインを学ぶ「プロダクトデザイン学科」がこの春に新しく誕生しました。

とって身近で幅広いプロダクトデザインの世界。プロのデザイナーとして活躍を続ける4名の教員が、その魅力についてご紹介します。



プロダクトデザイナーの仕事は、あらゆる工業製品のカタチを考えることです。あらゆる工業製品の中には、身の回りのあらゆる道具が含まれ（トランスフォーマー、ガンダムなどのおもちゃから家具などのインテリア用品、携帯電話などの情報機器、産業機械まで）カタチを考えるとすることは、かっこよく、使いやすく、作りやすくなどモノの一番大切な部分を考えることでもあります。

自動車、道路標識、電話ボックス、携帯電話、医療機器、PCデスク、○○○○ごっこ、など色々与设计してきましたが、対象は何でも楽しいというのが率直な感想です。何をデザインするかより、どうデザインするかの方がずっと喜びとかやりがいに関係があるなと思ったりします。ものづくりが好きな人にとっては実に面白い仕事ですよ。



プロダクトデザイン学科
土田 知也 教授



大学卒業後の21年間、いすゞ自動車、ピックアップ・ミュー・ロードオ・エルフなどのデザインに関わっていました。その後、長岡造形大学に赴任して16年。この間、地元企業のゲレンデ整備車、防衛車両などのデザインもしてきました。だから、私の専門はトランスポーターデザイン。オートランスポーターデザインの対象は、身近な自動車、バイク、自転車はもちろん、鉄道車両、ジェットスキー、ヨット、クルーザー

などの船舶、建設機械、農業機器、エアブレーン、スポーツギヤ、玩具など様々。全て、動力や人力で動きますから、まるでスピリッツを持っているようです。ですから、使う人たちは、愛車とか愛機とか愛用の品と称して可愛がります。そう愛される機器のデザインです。多くが、アウトドアでアクティブに使われる製品ですから、長生きします。目立ちます。自慢できます。楽しいのです。



プロダクトデザイン学科
和田 裕 教授

プロダクトデザインの世界

NIDでは、あらゆる工業製品のデザインを学ぶ「プロダクトデザイン学科」がこの春に新しく誕生しました。

とって身近で幅広いプロダクトデザインの世界。プロのデザイナーとして活躍を続ける4名の教員が、その魅力についてご紹介します。



ファッションプロダクトのデザインは既製品に限らず、服飾雑貨におけるバッグや帽子、映画や舞台、TVコマーシャルの衣装そして介護服に至るまで幅広くデザインし製作します。服飾とは単に身を守る、身体を被うものだけでなく、着る人・持つ人の心の背景があり、自己表現の手段となり、人と人が出会って会話を交わす以前に相手を知ることができるコミュニケーションツールです。

デザインし製作してゆく上で自分の思いを伝える為には、社会背景を考え、時代のエッセンスを盛り込むことがファッション=流行の意味であり、その中に自分の好きなことを表現する。そして楽しくものづくりをしたストーリーを人は必ず感じるものです。自分の思いが形になって伝えられた時、やりがいがある仕事だと感じます。



プロダクトデザイン学科
川越 ゆかり 准教授

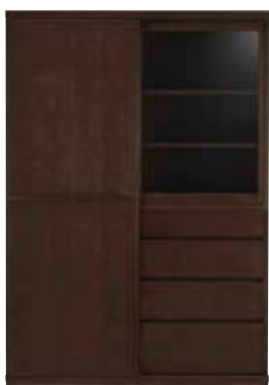


家具などのインテリアを構成する用品をデザインする仕事は、カタチを考える事はさることながら、使う人の暮らし、つまりは生活自体をデザインすることでもあります。対象となるターゲットの分析を行い、生活空間を研究・構成してライフスタイルを想定する作業をしていくことによって生みだされた商品は、使う人の生活をより良く、より豊かにする可能性を秘めています。

自分が考えているコンセプトが具現化されていくプロセスがこの仕事の醍醐味であると感じています。

商品として完成した時の喜び、そして売り場に並んだ時の喜び、なにより実際に使ってもらっている人が満足してくれている喜び。

過程の苦勞を忘れ去るほどの喜びとやりがいのある仕事です。



プロダクトデザイン学科
金澤 孝和 助教

保護者向け就職ガイダンスが開催されました。



7月26日(日)オープンキャンパスとの併催で、今年も保護者向け就職ガイダンスが開催されました。前半は毎日コミュニケーションズの講師の方から「最近の就職環境と職業選択について」というテーマで、最近の学生と企業の悩み、企業側が学生に

求めるもの、求められる人材になるにはなどの内容で講演していただきました。後半は既に内定を得ている4年生3名から就職体験談を話してもらい、充実した内容のガイダンスとなりました。

●内定を得た4年生への質問と回答

- | | |
|---|--|
| <p>Q. 就職活動で辛かったことは？</p> <p>A. ○最終面接に進むにつれて役員面接が多くなり、鋭いところまでつっこまれた。
○履歴書の志望動機が一番難しかった。昔の経験を活かしたことを取り込んだ。
○広告業界は面白いことを言わなければ内定がとれないという点に苦労した。</p> <p>Q. 子供の立場から親に望むことは？</p> <p>A. 子供の話をよく聞いてあげる。内定が貰えなかった時に励ましの言葉をかけてあげる。</p> | <p>Q. 就職活動で意識していたことは？</p> <p>A. ○面接で誰でもいえる様な話はしない。○礼儀正しく、相手の目を見て話すこととポートフォリオを必ず持参する。○自由な発想、個性的な発言をした。</p> <p>Q. 後輩達に向け、どのような点に気をつければ良いかアドバイス。</p> <p>A. 早めに就職に対する意識を高める。就活を継続的にする。やりたい事を明確にする。</p> |
|---|--|

就活講座に参加しよう。

就職活動の準備が本格化する3年生の後期から、毎週木曜日の1時限目に就職対策講座を開講します。就職活動に必要なことを、講座だけでなくワークなどを通して学んでいきます。3年生は必ず出席してください。

●就活スケジュール

<p>9月～11月 就活の前に準備すること</p> <p>自分がやりたいことを実際の社会の中でどのように実現するのか？仕事や企業についての情報収集のしかたを学ぶことを中心に、就職活動に向けて準備をします。</p>	<p>9月17日(木) 第2回 就職ガイダンス</p> <p>就活準備を始めよう！今後の就活スケジュールを中心に</p>	<p>9月24日(木) 自己分析の おさらい1</p> <p>何のための自己分析？自己分析の方法を紹介します</p>	<p>10月1日(木) 自己分析の おさらい2</p> <p>自己分析をしてみよう 応募書類のネタを作ろう！</p>	<p>10月15日(木) 業界研究・企業 研究のしかた</p> <p>業界・企業研究のコツ</p>	<p>10月22日(木) インターネット による情報収集</p> <p>就職サイトを使った業界研究・企業研究をしよう</p>	<p>10月29日(木) 企業人事担当者 による講演</p> <p>企業はどんな人を採用したいの？</p>	<p>11月5日(木) 4年生 就職体験談</p> <p>先輩の話聞いてみよう！</p>
<p>11月・12月 就活実践に向けて</p> <p>履歴書や合同企業説明会参加のポイントなど。講座を通して、実際に動き出すために必要なポイントを確認して、実践力を養います。</p>	<p>11月12日(木) 自己PRの おさらい</p> <p>自己分析の進歩の確認</p>	<p>11月19日(木) 応募書類の 書き方</p> <p>履歴書・エントリーシート(ES)作成のポイント</p>	<p>11月26日(木) 履歴書・ESを 書いてみよう</p> <p>今までの総復習。実際に書いてみる。個別添削をします</p>	<p>12月3日(木) 就職イベント参 加のポイントと メリット</p> <p>参加のメリットと事前準備、当日すべきこと</p>	<p>12月 県内合同企業 説明会</p> <p>実際に説明会に参加してみよう</p>	<p>12月10日(木) 履歴書の フィードバック1</p> <p>1人1人に添削した履歴書を返します</p>	<p>12月17日(木) 履歴書の フィードバック2</p> <p>前回の続きで、履歴書の添削をします</p>
<p>1月～ まとめと就活スタート</p> <p>いよいよ就職活動が本格化します。企業の採用スケジュールに合わせて、出遅れないように活動を始めてください。</p>	<p>1月7日(木) 面接／グループ ディスカッション 対策</p> <p>面接試験の注意点と基本マナー</p>	<p>1月14日(木) 第3回 就職ガイダンス</p> <p>いよいよ本格的にスタート！取り組みのポイントなど</p>	<p>1月 面接講座</p> <p>模擬面接を体験します</p>	<p>2月 東京合同企業 説明会</p> <p>バスに乗って東京まで</p>	<p>3月 学内合同企業 説明会</p> <p>大学に企業がやってきます</p>	<p>4年生4月以降 就職応援講座</p> <p>4年生にも随時フォロー講座を実施</p>	<p>いつでも 個別相談</p> <p>気軽に就職進路開発センターに来てください</p>



長岡造形大学保護者会「大地」の活動内容や事業報告などを行っていくコーナーです。

Campus Life ~課外活動~

「課題制作で忙しいけれど、私たち学生生活を楽しんでいます！」NIDキャンパスでは体育系・文化系を問わず、多彩な課外活動が行われています。そんな学生たちの課外活動の様子をご紹介します。

長岡造形大学保護者会「大地」はサークル活動や大学祭など、学生会の自主的な活動をサポートしています。



輪太鼓衆 転太鼓舞

長岡市内を中心に、様々なお祭りやイベントでワイワイとてんでこまい、楽しく太鼓を叩いています。担いで演奏できる太鼓なので動き回れるという利点を活かし、ねり歩きで演奏したり、踊るように叩くことができます。地域のお祭りやイベントに参加することで、その地域のちびっこやお年寄りの方とも交流できて良い経験になります。聴いてくれている皆さんの笑顔や、「良かったよ」「かっこよかったよ」とかけてくれる声が私達のエネルギーになります。

代表者：
視覚デザイン学科
黒川 美知江



紙漉きサークル

和紙を漉いたり、漉いた和紙を使って雑貨などをつくったりしています。大学祭やデザインフェア、地域のイベント等で作品を販売したり、夏休み期間中には小国和紙生産組合さんでの合宿も行っています。自分の手で漉いた和紙を使った作品づくりや、新しい和紙での表現方法を日々模索中です。紙への興味はどんどん高まり、とても楽しいサークルです。皆さんも、ぜひ一緒に和紙を漉いてみませんか！

代表者：
視覚デザイン学科
小林 留奈



No Wall Digger (ダンス他)

毎週火曜と木曜の夜7時から大学のエントランスで練習しています。5月には新入生にも参加してもらって、NID総合音楽会と合同で新歓イベントを行いました。10月にある大学祭でも1日目のステージのトリで踊ります！サークルメンバーのほぼ全員が大学からダンスをはじめました。ダンスのスキルも大事ですが、それよりもまずは音楽を心と体で楽しむことがモットーのサークルです。

代表者：
建築・環境デザイン学科
斎藤 弘喜



最近のイベントや学生活動などをピックアップしてご紹介します。

オープンキャンパスで NIDをまるごと体験！

2009.7

7月25日、26日の2日間、オープンキャンパスを開催しました。大学紹介やキャンパス見学などから始まり、各学科に分かれてのNID自慢の体験授業・模擬講義など、様々なイベントを実施。他にも個別相談会や保護者の方を対象とした説明会など、普段疑問に感じていたこともこの機会に解消していただけたのではないかと思います。高校生や保護者の皆さん、多数のご参加ありがとうございました！



デッサンを 基礎から学ぶ7日間

2009.8

8月4日から8月10日の7日間、高校生を対象として夏期デッサン教室を開催しました。今回で6回目になるこのイベントも年々受講生が増え、今年はおおよそ100名の参加がありました。100名が一堂に会してデッサンを描くという機会は、他ではなかなか体験できるものではなく、参加した高校生にとっては大変有意義な7日間になりました。



教員作品展、盛況のうちに終了。

2009.8.9

8月4日から9月10日まで、新潟県立近代美術館にて本学教員による作品展を、2度に渡って開催しました。

①福田 毅 ユーモアポスターの世界
視覚デザイン学科の福田毅教授のこれまで制作してきたポスター42点を中心に、木のおもちゃやポストカードなど色彩あふれる作品の数々が会場を飾りました。「人生はOne Way. 楽しくなくては」とのモットーを持つ福田先生の作品は、どれも思わずニヤリとしてしまうものばかり。タイトルどおりのユーモアあふれる作品を鑑賞した来場者からは絶賛の声が上がりました。



②表現へのまなざし パート2

～美術・工芸学科の開設を迎え～
今年4月にスタートした美術・工芸学科の開設を記念して、同学科9名の教員による合同展を行いました。金属工芸、テキスタイル、彫刻、絵画、ガラス工芸と、各分野の作品が会場にならびました。じっくりと作品に向かい合い鑑賞する来場者の姿が印象的な展覧会となりました。



ものづくりで夢づくり！

2009.8

8月6日から9日の4日間、長岡市内の小学生を対象に「夢づくり工房」を開催しました。これはNIDと長岡市教育委員会が協力して行ったもので、普段なかなかできないようなものづくりを体験してもらおうというイベントです。参加した小学生は、前半の真壁友准教授の講座では半田ごてなどの未知の道具に、また後半の土田知也教授の講座では難しい3DCGソフトに挑戦し、楽しみながら作品を作り上げていました。



高校の先生との技術交流会

2009.8

8月4日から6日の3日間、中村和宏准教授指導のもと技術交流会を開催しました。これは高校の先生と、作品制作を通して技術交流と情報交換を図るもので、今年で7回目を迎えました。ガラスをテーマに、型を使って焼成する技法、溶けたガラスを吹く技法の2種類の技法を使ってガラスや小皿を制作しました。真夏の工房での大変な作業でしたが、参加した先生方は納得のいくまで作品制作に打ち込んでいました。



Editor's Note

先月の長岡まつり花火大会では、家族と信濃川の土手で観覧していたのですが、あいにくの風で花火のけむりがこちら側に充満してほとんど花火が見えない状況でした。急に雷と強い雨にもふられました…。少し不完全燃焼という感じで夏を過ごしました。

長岡近隣の市町村では、8月中に様々なところで花火があがります。8月の第3週の週末はピークで、車によって移動していると、こちらにあがったと思ったら、あちらにもという状況です。毎年このことですが、花火が好きな人が多い地域だなどと思います。

私も花火好きとして大学祭の最終日の花火を楽しみにしています。その他、様々なイベントも盛りだくさんなので、ぜひいらっしやってください。

表紙写真：「ジネーヴラ・ベンチの肖像」

Cover Photo: Sakiko Azegami

Design: Kazunori Yaoita

編集・発行



Nagaoka Institute of Design
長岡造形大学

長岡造形大学入試広報課

940-2088 新潟県長岡市千秋4丁目197番地
Tel. 0258-21-3331 Fax. 0258-21-3343
E-mail: nyushi@nagaoka-id.ac.jp
http://www.nagaoka-id.ac.jp/